

国分寺市における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する取組方針

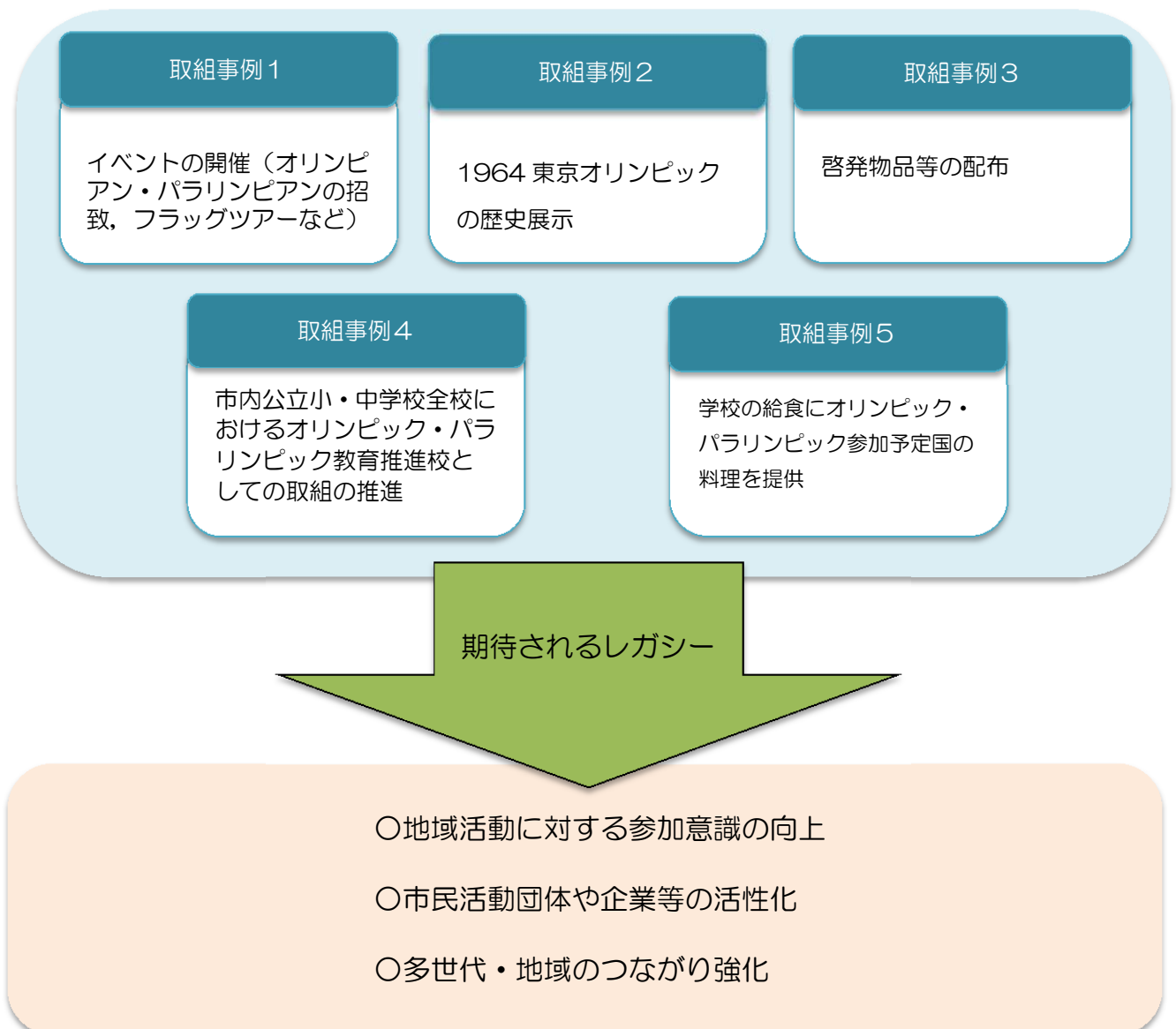
平成 29 年 6 月 1 日市長決裁

平成 25 (2013) 年に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 (以下「東京 2020 大会」といいます。) の開催が決定しました。このことを受けて日本国内では、平成 32 (2020) 年に向けて訪日外国人の増加や東京 2020 大会に関連する経済活動、文化交流が盛んになることが予測されます。

市は東京 2020 大会の持つ理念を尊重するとともに、大会に向けた取組みが本市のまちの魅力発信、今後のまちづくり等にとって有益なものとなるよう、以下の取組方針を定め、これを推進します。

1 大会気運の醸成

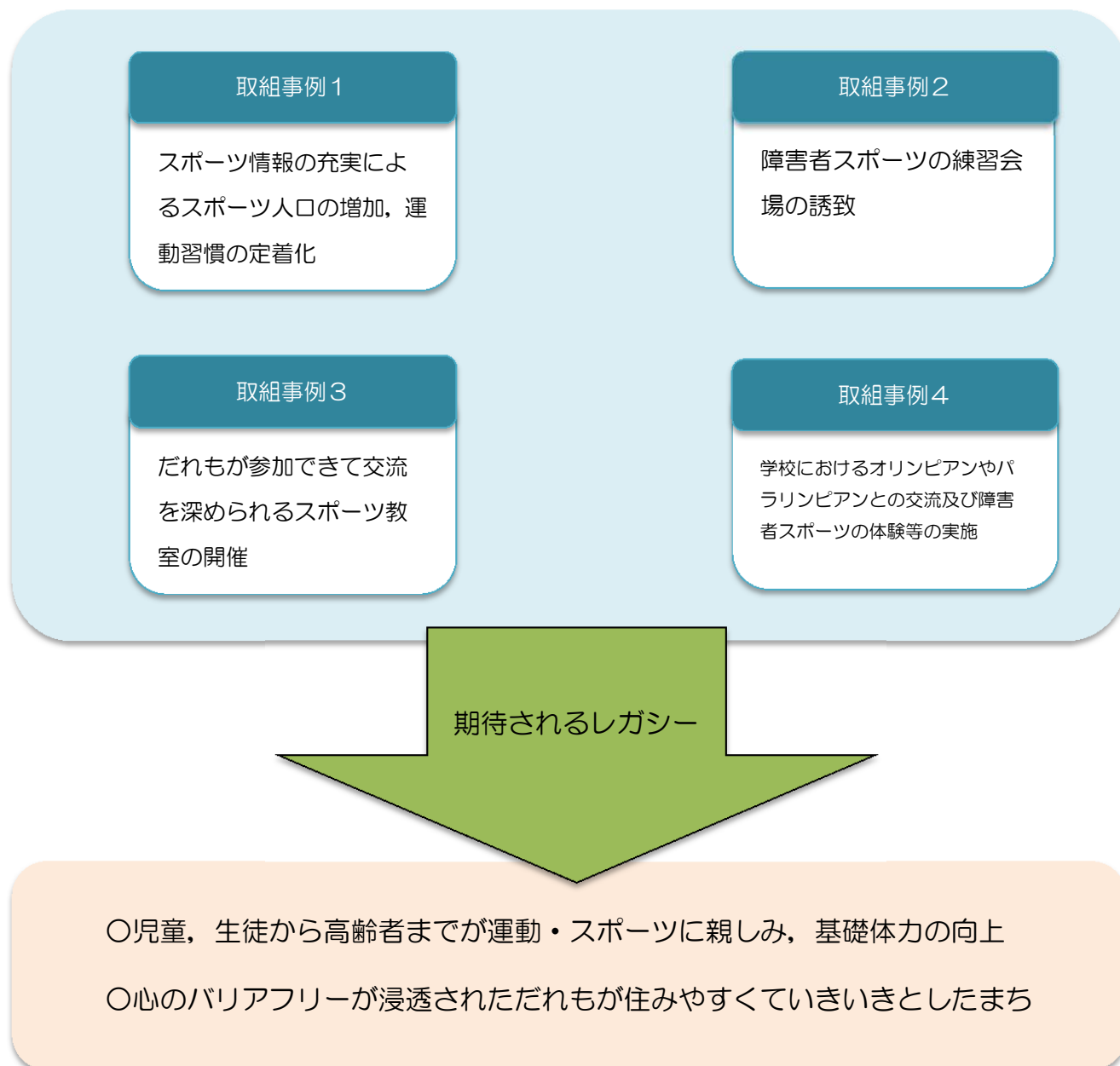
東京 2020 大会の関連イベントの開催等、市民・事業者等と市が協働した取組みを実施し、多様な分野で幅広い世代が活躍する場・参加する場・楽しめる場を設け、全市を挙げて大会気運の醸成と高揚を図ります。



2 スポーツ推進を通じた健康づくり・障害者理解促進

東京 2020 大会を契機として、市民のスポーツへの関心を高め、健康づくりの意識の高揚を図り、体力・運動能力の向上に繋がっていきます。

また、地域における障害者スポーツの普及を進めることにより、障害のある人のいきがづくりを図るとともに、障害に対する理解を促進し、障害のある人もない人も共に支え合うまちづくりを推進します。



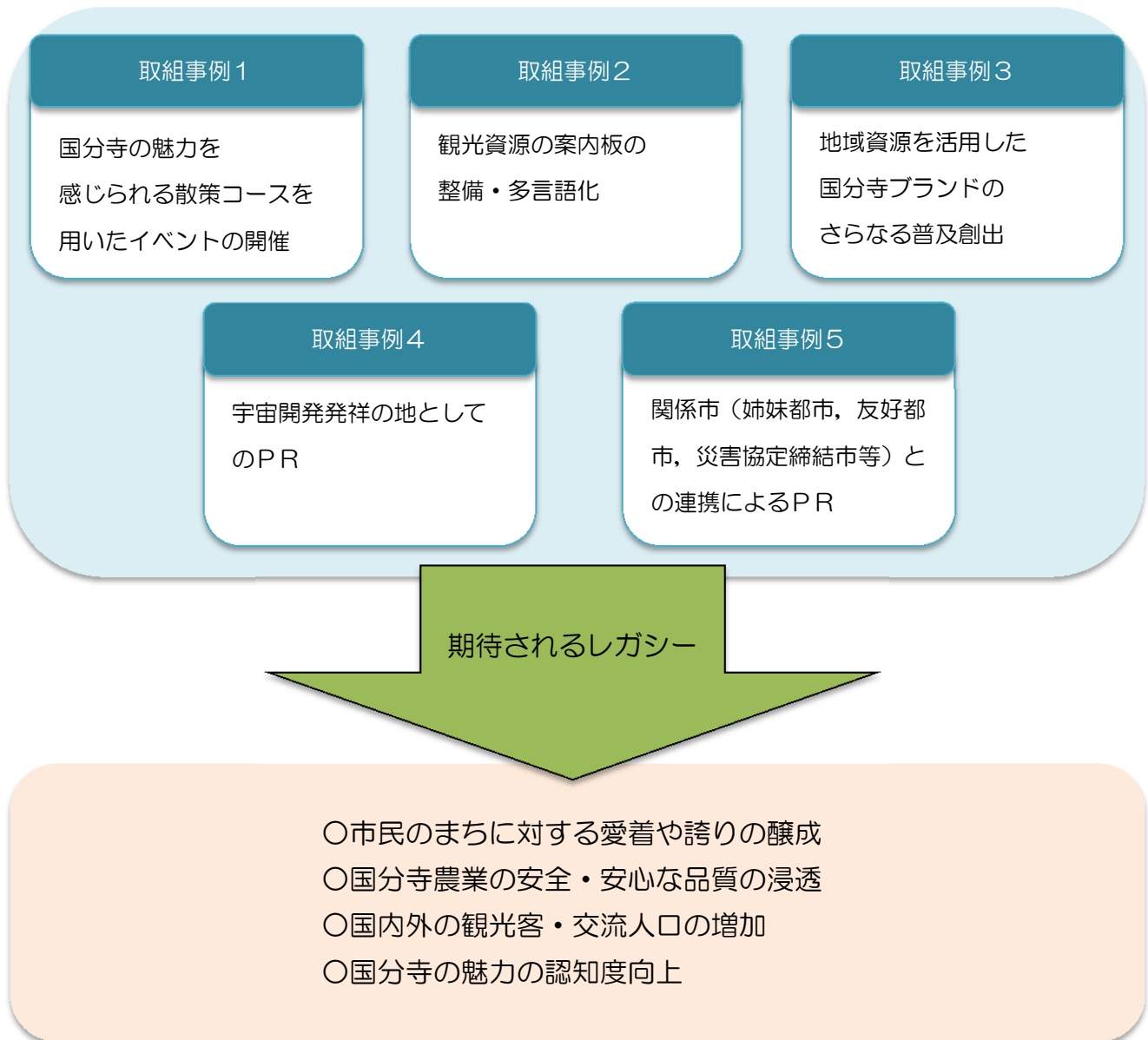
<心のバリアフリーとは>

人々の意識にある「障害」や、「障害者等（高齢者・外国人含む）」に対する差別や偏見，理解の不足，誤解などに起因するバリアをなくすことです。

3 まちの魅力の発信・地域振興

史跡武蔵国分寺跡の整備や商業による賑わいの創出、都市と共生する国分寺農業の活性化等により、国分寺の魅力をもっと高めるとともに、市民、事業者等と市がともに新たな国分寺の魅力を発掘することで、市民だれもが国分寺のまちを誇りに感じ、市民生活を豊かなものとしていきます。

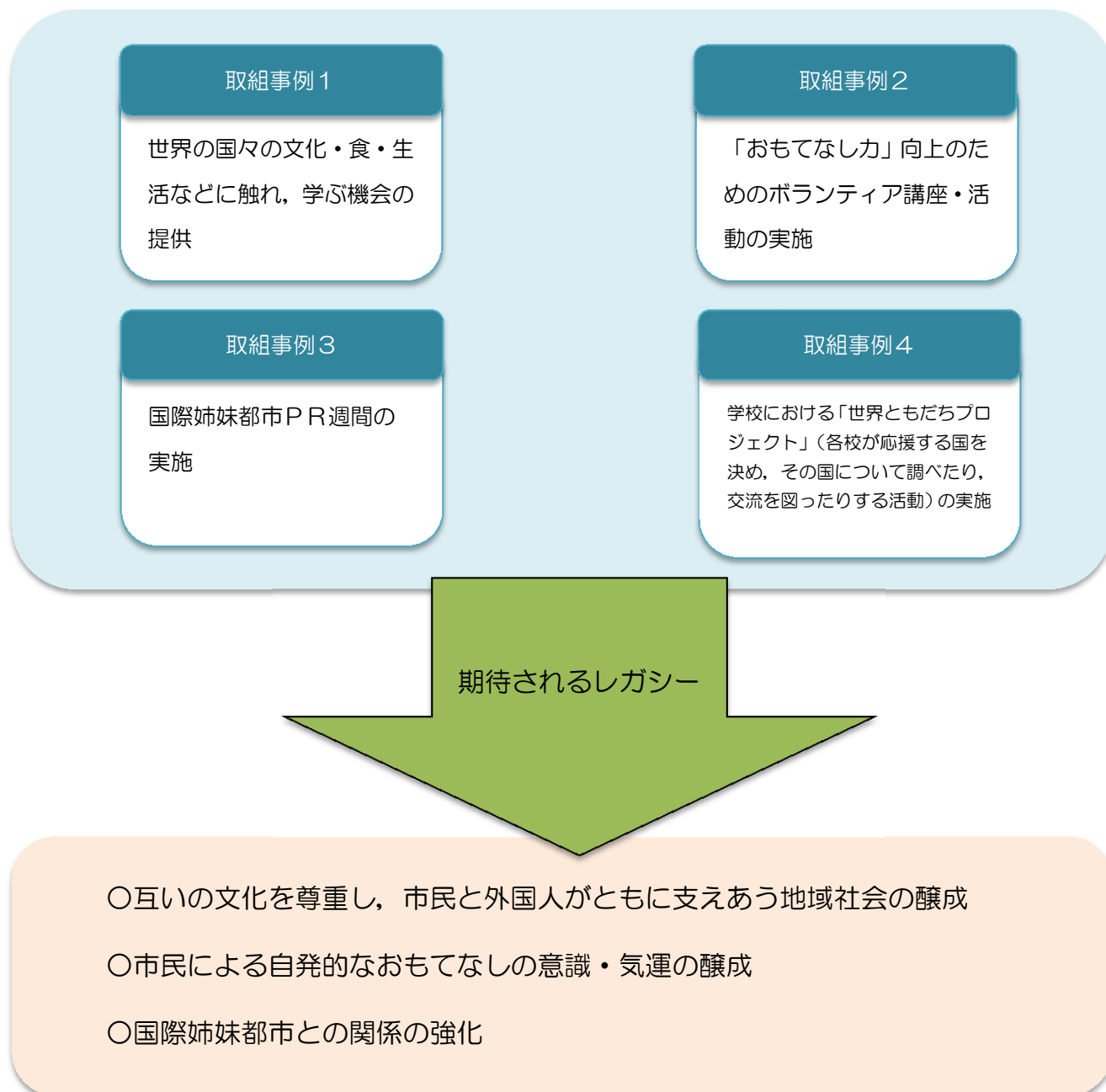
また、国分寺の魅力を市内外に戦略的に発信することで、その認知度の向上を図り、交流人口の増加や地域振興につなげます。さらに、東京 2020 大会を契機とすることにより、国分寺の魅力の世界に向けて発信する機会を創出します。



4 国際交流・おもてなし

世界の人々・文化に触れる機会を設け、多くの市民が、多様性を尊重する意識・態度や、豊かな国際感覚を身に付け、在住の外国人とのつながりや支え合いを大切にしたい地域づくりを目指します。さらに、国際姉妹都市（マリオン市）に関する取組みを充実させ、交流・連携を深めていきます。

また、様々なボランティア講座を開催し、市民の「おもてなし力」向上を図り、訪日外国人にとって居心地のよい場を提供します。



5 景観や環境に配慮した安全・安心なまちづくり

東京 2020 大会時には、近年増加する外国人旅行者に加えて、選手、大会関係者、観客など多くの外国人が日本を訪れることが予想されます。そのため、子ども、高齢者、障害者のみでなく、外国人も含めた多様な人々にとって、使いやすく、分かりやすい社会インフラや情報のあり方が重要となります。多様な人々が安全・安心に過ごせるまちづくりを進めるため、景観や環境への配慮した社会インフラの整備、自然災害対応といったハード面のみならず、誰にとっても分かりやすいサインや多言語対応などソフト面での対応を推進します。

